



わしゅう ざん おとす せ と ない かい こく りつ こう えん  
鷺羽山を訪れ、瀬戸内海国立公園の自然を楽しむ

鷺羽山ビジターセンターは鷺羽山の自然や歴史、瀬戸大橋などの魅力を知りその後の散策などを楽しく過ごしてもらうために倉敷市が整備しNPO法人「鷺羽山の景観を考える会」が運営している施設です。

他にも月2~3回程度でイベントとボランティア活動を企画しています。

イベントでは七夕など季節の行事や初日の出を見る会、バードウォッチングなどを行いボランティアでは鷺羽山展望地の清掃活動などを行っており、幅広い年齢層の方々に参加いただき楽しく活動しています。

## ◆ 施設のおすすめ

館内には鷺羽山一帯から出土した石器時代の道具や海底から引き揚げられた1万6千年前のナウマンゾウの化石、周辺に生息している鳥類・昆虫・植物などの標本やイラストを観察できるコーナーと瀬戸大橋に使われているメインケーブルのワイヤーやジオラマ、当時の工事風景と瀬戸大橋が架かる以前に撮影された鷺羽山の写真などを見ることができます。

また、展望テラスも設けており瀬戸大橋と瀬戸内海の多島美をゆっくりと楽しむことができ多目的ホールでは近くの海岸に流れ着いた貝殻などがガラス片などを使った小物づくり体験も行っています。

## ◆ 子どもたちへのメッセージ

瀬戸内国立公園と香川県へつながる瀬戸大橋を一望できる鷺羽山、そこにある草花や動物たちの自然と、季節ごとに開催しているイベントを通じていろいろなもの、人と触れあうことで、鷺羽山や瀬戸大橋あるいは瀬戸内海に愛着を持ち、大切にしていっていただければと思います。



せ と ない かい こく りつ こう えん  
瀬戸内海国立公園



わしゅう ざん しゅう へん しゅつ ど ひん  
鷺羽山周辺の生き物と出土品



かいてい ひ あ は ほね  
海底から引き揚げられたナウマンゾウの歯と骨



さくひん  
ワークショップ作品



わしゅう ざん  
鷺羽山の古い写真



せ と おおはし だんめん も けい  
瀬戸大橋メインケーブル断面模型



せ と おおはし かいせつ  
瀬戸大橋の解説



てんぼう なか  
展望デッキからの眺め